

# 令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	154	高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業							
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう								
			基本事業	高齢者福祉								
	主管課名		長寿介護課			課長名	浅井謙一					
	この事務事業の開始時期		平成13年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業実施要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に居住する人に対し、生活援助員を派遣することにより、居住者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援する。 [対象] ・65歳以上の夫婦のみ世帯（配偶者は60歳以上） ・65歳以上の親族からなる二人世帯（同居者は60歳以上） ・65歳以上の単身世帯 【SDGsの取組：3】					高齢者世話付き住宅（シルバーハウジング）に居住するひとり暮らしの高齢者又は高齢者世帯に生活援助員を派遣し相談、緊急時に対応する。ひとり暮らしの高齢者又は高齢者世帯が安全かつ快適な生活を営むためには必要である。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			高齢者世話付住宅生活援助業務委託をし、生活援助員に入居者の生活を見守り、生活指導や相談、日常生活の援助や安否確認を行い、安心して生活を営めるようにした。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	高齢者人口が増加している。				名称		単位					
					①	生活援助員が訪問、電話した回数		回				
					②							
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
・65歳以上の夫婦のみ世帯（配偶者は60歳以上） ・65歳以上の親族からなる二人世帯（同居者は60歳以上） ・65歳以上の単身世帯					名称		単位					
					①	シルバーハウジング入居者		人				
					②							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
安心して生活を営めるようにしたい。					名称		単位					
					①	生活援助員が訪問、電話した回数		回				
					②							
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
安心して住み慣れた地域で生活してもらう					名称		単位					
					①	高齢者福祉の取組の市民満足度割合		%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
(1)の活動指標		① 回	6,424	6,500	7,365	7,865	7,865	7,865	7,865			
		②										
(2)の対象指標		① 人	52	52	45	50	50	50	50			
		②										
(3)の成果指標		① 回	6,424	6,500	7,365	7,865	7,865	7,865	7,865			
		②										
(4)の結果の成果指標		① %	63	64.25	63	65.5	66.75	68	69			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	5,110	5,292	5,264	5,424	5,400	5,421	5,442			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,110	5,292	5,264	5,424	5,400	5,421	5,442			
人件費B		千円	996	996	1,992	1,992	1,992	1,992	1,992			
正職員従事時間×人数		時間×人	150×2	150×2	300×2	300×2	300×2	300×2	300×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	81	146	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	6,187	6,434	7,256	7,416	7,392	7,413	7,434			
単位あたりコスト		① 千円/人	119	123.7	161.2	148.3	147.8	148.3	148.7			
(トータルコスト/②)の対象指標		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	154	高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業
-------	-----	-----	--------------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	シルバーハウジングの入居者が、見守り援助を受けながら安心して生活をしている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	シルバーハウジング入居者を事業の対象としているため、対象の見直しを行う必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢社会の進行に伴い、高齢者の見守りがより必要となるため、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	入居者がシステムの操作に理解を深めて、誤報を減少させる。	
	目的達成状況	内容	入居者に対し十分援助している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 高齢者世話付住宅生活援助業務委託	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業の統廃合により事業の成果を向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	事業費を削減すると、見守り回数が減少するため、できない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	なし	対応策	なし
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	高齢者世話付住宅生活援助業務委託。生活援助員が入居者の生活を見守りした。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 高齢社会の進行に伴い、高齢者の見守りが必要となることから、生活援助員が入居者の援助を行い、今後も継続して事業を実施する。		
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業の現状	事務事業名		No.	155	老人保護措置事業						
	この事務事業の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
		施策	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう								
		基本事業	高齢者福祉								
	主管課名	長寿介護課			課長名	浅井 謙一					
この事務事業の開始時期	昭和63年4月			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
この事務事業の根拠法令	老人福祉法第11条										
P L A N 及 び D O	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	老人福祉法の規定に基づき、家庭環境や経済上の理由により、家庭で生活することが困難なため養護老人ホーム等への入所が必要であると「入所判定審査会」が判断したときは、当該高齢者を養護老人ホーム等に入所措置する。虐待を受けている高齢者を緊急的に養護老人ホーム等に入所措置する。 [対象] ・65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により家庭で生活することが困難な高齢者 【SDGsの取組：3、11】				養護老人ホームに入所措置された人には、1月につき7,500円的生活補給金を支給（収入のある場合はその金額を控除して支給） みよし市内には養護老人ホームがないため、他市町村の養護老人ホームに入所を委託している。 介護認定を受けている場合は特別養護老人ホームに入所措置するが、介護保険制度を利用しての入所となる。						
R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		養護老人ホームに2名、特別養護老人ホーム（短期入所生活介護）に1名の入所措置を講じた。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	変化なし				名称						
					①	措置をした人数	単位		人		
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市内在住の65歳以上で、環境上及び経済的な理由で居家で養護を受けることが困難な人					名称						
					①	措置の対象となる人数	単位		人		
					②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
養護老人ホームへ入所が必要な場合、老人保護措置をする					名称						
					①	措置申請をした人数	単位		人		
					②						
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
養護老人ホーム等に入所することにより、環境上及び経済上問題なく安心して生活することができる					名称						
					①	措置された高齢者の人数	単位		人		
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
(1)の活動指標	① 人		3	3	3	3	3	3			
	②										
(2)の対象指標	① 人		3	3	3	3	3	3			
	②										
(3)の成果指標	① 人		3	3	3	3	3	3			
	②										
(4)の結果の成果指標	① 人		3	3	3	3	3	3			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト	年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	334	4,034	4,074	8,950	8,950	8,950	8,950			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	187	369	1,428	1,933	1,490	1,490	1,490		
	一般財源	千円	147	3,665	2,646	7,017	7,460	7,460	7,460		
人件費 B	千円	498	2,490	1,992	1,992	1,992	1,992	1,992			
正職員従事時間×人数	時間×人	75 × 2	250 × 3	300 × 2	300 × 2	300 × 2	300 × 2	300 × 2			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	112	146	233	233	233	233	233			
トータルコスト A+B+C	千円	944	6,670	6,299	11,175	11,175	11,175	11,175			
単位あたりコスト ①	千円/人	0	2,223.3	2,099.7	3,725	3,725	3,725	3,725			
(トータルコスト/②)の対象指標	千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名	No.	155	老人保護措置事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	家庭環境や経済上の理由により、家庭で生活すること困難な人がいるため、無くすことのできない制度である。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	老人福祉法で定められている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	老人福祉法で定められている。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	事業の主旨は、対象者となる高齢者がいればその人に適した対処をするものであるため、成果を向上させるものではない。		
		目的達成状況	内容	対象者が発生すれば100%達成できる。		
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営措置費		
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	統廃合することができない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	定められた金額なので削減できない。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	本人の所得等に応じた自己負担が決められている。		

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	なし	対応策	なし
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	養護老人ホームに2名、特別養護老人ホーム（短期入所生活介護）に1名の入所措置を講じた。	変更・追加	案件が発生すれば同様に対応する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 高齢化の進展、また本市には矯正施設（名古屋刑務所）があることから、老人ホームへの入所措置の必要な高齢者が増加すると予測される。また、高齢者への虐待事例も増加しており、緊急措置についても増加が予測される。 今後も継続して事業を実施する。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務 事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	<b>事務事業名</b>		No.	156	敬老金支給事業							
	<b>この事務事業の位置</b>		政策		健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策		豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう							
			基本事業		高齢者福祉							
	<b>主管課名</b>		長寿介護課			<b>課長名</b>	浅井謙一					
	<b>この事務事業の開始時期</b>		昭和56年			<b>事務区分</b>	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	<b>この事務事業の根拠法令</b>		みよし市敬老金支給要綱									
	<b>事業の概要</b>					<b>現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由</b>						
	多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者に対し、敬老金を支給することにより長寿を祝福し、社会福祉の向上に寄与することを目的とする。 市内在住の80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の者を対象に、民生委員が各戸訪問し配布する。 【SDGsの取組：3】					80歳と85歳の者には、5,000円 90歳と95歳の者には、10,000円 100歳以上の者には、30,000円						
	<b>R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等</b>			市内在住の80歳、85歳に5,000円、90歳、95歳に10,000円、100歳以上に30,000円の敬老金を民生委員の協力により配布した。								
<b>事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか</b>					<b>(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）</b>							
<b>変 化 内 容</b>	高齢者人口が増加している。				<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					①	敬老金の支給対象人数	人					
		②										
<b>対象（この事業の対象、範囲となる人、物）</b>					<b>(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）</b>							
市内在住の80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の人					<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					①	敬老金の支給対象人数	人					
		②										
<b>目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）</b>					<b>(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）</b>							
多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者に対し、敬老金を支給することにより感謝の意を表す。					<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					①	敬老金の支給対象人数	人					
		②										
<b>結果（上位基本事業の意図）</b>					<b>(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）</b>							
安心して住み慣れた地域で生活してもらう					<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					①	高齢者福祉の取組の市民満足度割合	%					
		②										
<b>事務事業の各種指標の実績と見込及び目標</b>												
<b>指標 \ 年度</b>		<b>単位</b>	<b>H31年度実績値</b>	<b>R2年度計画値</b>	<b>R2年度実績値</b>	<b>R3年度計画値</b>	<b>R4年度目標値</b>	<b>R5年度目標値</b>	<b>R6年度目標値</b>			
(1)の活動指標		① 人	729	865	772	863	945	874	803			
		②										
(2)の対象指標		① 人	729	865	772	863	945	874	803			
		②										
(3)の成果指標		① 人	729	865	772	863	945	874	803			
		②										
(4)の結果の成果指標		① %	63	64.25	63	65.5	66.75	68	69			
		②										
<b>予算費目</b>		<b>会計</b>	01 一般会計				<b>款</b>	03	<b>項</b>	01	<b>目</b>	06
<b>コスト</b>		<b>年度</b>	<b>H31年度実績値</b>	<b>R2年度計画値</b>	<b>R2年度実績値</b>	<b>R3年度計画値</b>	<b>R4年度目標値</b>	<b>R5年度目標値</b>	<b>R6年度目標値</b>			
事業費（決算又は予算額）A		単位	4,500	5,622	4,996	5,816	5,740	5,903	7,185			
<b>財 源 内 訳</b>	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	4,500	5,622	4,996	5,816	5,740	5,903	7,185		
人件費B		千円	1,126	1,458	3,016.4	3,016.4	3,016.4	3,016.4	3,016.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	75×4	100×4	291×3	291×3	291×3	291×3	291×3			
正職員以外の人件費		千円	130	130	118	118	118	118	118			
その他の費用C		千円	134	146	135	135	135	135	135			
トータルコストA+B+C		千円	5,760	7,226	8,147.4	8,967.4	8,891.4	9,054.4	10,336.4			
単位あたりコスト		千円/人	7.9	8.4	10.6	10.4	9.4	10.4	12.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	156	敬老金支給事業
-------	-----	-----	---------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	この事業は、高齢者に多年にわたり社会の進展に寄与されたことに対する感謝の意を表するため必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者の増加に伴い、支給要件年齢の見直し等を検討する必要がある。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者に対して感謝の意を表するために支給しているため、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	敬老金の支給対象者は決まっているため、成果を向上させるものはない。	
	目的達成状況	内容	達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 敬老金	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業を統廃合することにより成果を向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	高齢者人口が増加するため、事業費の削減はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	敬老金

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	高齢人口の増加に伴い、敬老金の対象となる高齢者の人数が増加する。	対応策	支給要件年齢の見直し等を検討する。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	これまでは、敬老金を民生委員の協力により配布していたが、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、口座振込とした。	変更追加	新型コロナウイルスの感染状況を見て、民生委員の手渡し、口座振込かを検討する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 支給要件、支給方法等を見直しを図りながら、事業を継続していく。		
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	157	高齢者訪問等事業							
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう								
			基本事業	高齢者福祉								
	主管課名		長寿介護課			課長名	浅井謙一					
	この事務事業の開始時期		昭和60年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市高齢者訪問事業実施要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者の自宅を市長が訪問し、祝品を贈呈して感謝の意を表すことにより、その長寿を祝うことを目的とする。 白寿、100歳を迎えた方の自宅及び市内最高齢者の居場所並びに特別養護老人ホームを市長が訪問し敬老金及び記念品を贈呈する。また市内老人福祉施設入所者には、記念品を贈呈する。 【SDGsの取組：3】					多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者に感謝の意を表し、その長寿を祝うために高齢者等を市長が訪問する。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			市内最高齢者、白寿及び100歳を迎えた方、並びに特別養護老人ホームを市長が訪問し敬老金及び記念品を贈呈予定であったが、新型コロナウイルスの影響により市長訪問を中止し、代わりに長寿介護課長が訪問を実施した。また市内老人福祉施設入所者には、記念品を贈呈した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	高齢者人口が増加している。				名称		単位					
					①	市内最高齢者、白寿、100歳人数	人					
					②	市内老人福祉施設入所者数	人					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①市内最高齢者、白寿、100歳を迎えた人 ②市内老人福祉施設入所者（特養、有料、ケアハウス）					名称		単位					
					①	市内最高齢者、白寿、100歳人数	人					
					②	市内老人福祉施設入所者数	人					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
お祝い品を贈り、多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者に感謝の意を表す。					名称		単位					
					①	市が記念品を贈呈する高齢者	人					
					②	お祝い品を贈る入所者人数	人					
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
安心して住み慣れた地域で生活してもらう					名称		単位					
					①	高齢者福祉の取組の市民満足度割合	%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	8	10	10	10	10	10	10			
		② 人	271	270	261	270	270	270	270			
(2)の 対象指標		① 人	8	10	10	10	10	10	10			
		② 人	271	270	261	270	270	270	270			
(3)の 成果指標		① 人	8	10	10	10	10	10	10			
		② 人	270	271	261	270	270	270	270			
(4)の結果の 成果指標		① %	63	64.25	63	65.5	66.75	68	69			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	350	439	297	567	516	567	619			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	350	439	297	567	516	567	619			
人件費B		千円	727.1	1,155.4	498	498	498	498	498			
正職員従事時間×人数		時間×人	73×3	116×3	75×2	75×2	75×2	75×2	75×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	165	146	101	101	101	101	101			
トータルコストA+B+C		千円	1,242.1	1,740.4	896	1,166	1,115	1,166	1,218			
単位あたりコスト		① 千円/人	155.3	174	89.6	116.6	111.5	116.6	121.8			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/人	4.6	6.4	3.4	4.3	4.1	4.3	4.5			

事務事業名	No.	157	高齢者訪問等事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	多年にわたり市の進展に寄与された方へ感謝の意を表するため必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	最高齢等の対象者に対して、国、県及び市が併せて記念品を贈呈することから、対象者を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者に対して感謝の意を表する目的について、見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		記念品を贈呈する高齢者人数が決まっているため、成果を向上できない。
	目的達成状況	内容		達成できている。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 記念品購入	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		他の事業と統合することにより成果を向上させることができない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		対象者が決まっているため、現状の事業費を削減できない。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	対象高齢者の家族から市長訪問を辞退されることがある。	対応策	市長訪問を辞退される方に対しては、職員が訪問し、祝品をお渡しする。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、市長訪問は行わなかった。	変更追加	市長訪問は、新型コロナウイルスの感染状況をみて実施する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 最高齢者等に対して、長寿をお祝いするとともに、感謝の意を表する必要があるため、今後も継続して事業を実施する。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			



# 令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	159	福祉センター運営管理事業							
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう								
			基本事業	高齢者福祉								
	主管課名		長寿介護課			課長名	浅井謙一					
	この事務事業の開始時期		昭和63年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市立福祉センター設置及び管理に関する条例									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	福祉センターの運営管理を指定管理者である社会福祉法人みよし市社会福祉協議会が行う。福祉センターの維持管理のため施設の修繕を行う。 指定管理期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日5年間 【SDGsの取組：3】					各種高齢者福祉団体の活動拠点となっている福祉センターの管理運営を指定管理者であるみよし市社会福祉協議会が行い、施設の老朽化に伴い、施設、設備ともに緊急的な修繕が必要。また、今後は施設の管理、運営面の充実を図る必要から計画的に施設の修繕を行う必要がある。						
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			福祉センターの運営管理を指定管理者である社会福祉法人みよし市社会福祉協議会が行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	高齢者人口が増加している。				名称		単位					
					①	福祉センター利用者数	人					
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
福祉センター					名称		単位					
					①	福祉センター設置数	か所					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
福祉センターの運営管理が円滑に行われる。					名称		単位					
					①	福祉センター利用者数	人					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
安心して住み慣れた地域で生活してもらう。					名称		単位					
					①	高齢者福祉の取組の市民満足度割合	%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
(1)の活動指標		① 人	7,817	7,900	3,175	8,000	8,100	8,200	8,300			
		②										
(2)の対象指標		① か所	1	1	1	1	1	1	1			
		②										
(3)の成果指標		① 人	7,817	7,900	3,175	8,000	8,100	8,200	8,300			
		②										
(4)の結果の成果指標		① %	63	64.25	63	65.5	66.75	68	69			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	10,607	10,192	12,419	9,199	9,188	9,188	41,979			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	17	25	19	21	25	25	25			
	一般財源	千円	10,590	10,167	12,400	9,178	9,163	9,163	41,954			
人件費B		千円	929.6	929.6	830	830	830	830	830			
正職員従事時間×人数		時間×人	140×2	140×2	125×2	125×2	125×2	125×2	125×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	83	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	11,619.6	11,121.6	13,249	10,029	10,018	10,018	42,809			
単位あたりコスト		① 千円/か所	11,619.6	11,121.6	13,249	10,029	10,018	10,018	42,809			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	159	福祉センター運営管理事業
-------	-----	-----	--------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	福祉センターは、高齢者福祉団体の活動拠点等として必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者人口が増加しているため、福祉センターの利用対象者を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者人口が増加しているため、福祉センターの設置目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	現状で指定管理施設として適正に運営管理されている。	
	目的達成状況	内容	概ね達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 指定管理による管理	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	他の事業と統合することにより、成果を向上させることはできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	福祉センターの維持管理に必要な経費のため削減できない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	施設の管理なので、受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	建築後、約40年経過しているため、計画的な修繕が必要	対応策	施設の長寿命化計画を検討する。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	福祉センターの運営管理を指定管理者である社会福祉法人みよし市社会福祉協議会が行った。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 施設の管理運営のため、今後も継続して事業を実施する。 施設の老朽化に伴い、計画的な修繕が必要。 指定管理期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日 5年間			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	173	老人憩いの家運営管理事業													
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち														
		施策	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう														
		基本事業	高齢者福祉														
	主管課名	長寿介護課			課長名	浅井謙一											
	この事務事業の開始時期	昭和46年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務											
	この事務事業の根拠法令	みよし市立老人憩いの家設置条例															
	事業の概要	現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由															
	地区老人憩いの家の運営管理を指定管理者である各地区いきいきクラブが実施。 指定管理期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日 までの5年間 【SDGsの取組：3】	老人憩いの家は、高齢者の趣味・娯楽等生きがい・健康づくりの拠点である。地区いきいきクラブが指定管理者として施設管理を実施している。施設の老朽化に伴い、年々施設、設備の修繕が必要となっている。全館の耐震診断、耐震改修工事及びバリアフリー化を実施した。															
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	老人憩いの家（12館）の運営管理を、指定管理者である地区いきいきクラブが行った。															
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）													
変 化 内 容	高齢者人口が増加している。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>老人憩いの家利用者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	老人憩いの家利用者	人	②		
	名称		単位														
	①	老人憩いの家利用者	人														
②																	
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）													
老人憩いの家				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>老人憩いの家設置数</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	老人憩いの家設置数	か所	②		
名称		単位															
①	老人憩いの家設置数	か所															
②																	
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）													
老人憩いの家の運営管理が円滑になされる				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>老人憩いの家利用者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	老人憩いの家利用者	人	②		
名称		単位															
①	老人憩いの家利用者	人															
②																	
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）													
安心して住み慣れた地域で生活してもらう				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>高齢者福祉の取組の市民満足度割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	高齢者福祉の取組の市民満足度割合	%	②		
名称		単位															
①	高齢者福祉の取組の市民満足度割合	%															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値									
(1)の 活動指標	① 人	56,361	57,000	30,293	58,000	59,000	60,000	61,000									
	②																
(2)の 対象指標	① か所	12	12	12	12	12	12	12									
	②																
(3)の 成果指標	① 人	56,361	57,000	30,293	58,000	59,000	60,000	61,000									
	②																
(4)の結果の 成果指標	① %	63	64.25	63	65.5	66.75	68	69									
	②																
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	07						
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値									
事業費（決算又は予算額）A	単位	30,321	34,133	39,502	37,960	54,896	207,962	120,684									
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0									
	その他	千円	0	1	0	1	1	1									
	一般財源	千円	30,321	34,132	39,502	37,959	54,895	207,961	120,683								
人件費B	千円	1,494	1,494	2,551.7	2,551.7	2,551.7	2,551.7	2,551.7									
正職員従事時間×人数	時間×人	225×2	225×2	312×2	312×2	312×2	312×2	312×2									
正職員以外の人件費	千円	0	0	480	480	480	480	480									
その他の費用C	千円	83	83	98	98	98	98	98									
トータルコストA+B+C	千円	31,898	35,710	42,151.7	40,609.7	57,545.7	210,611.7	123,333.7									
単位あたりコスト	① 千円/か所	2,658.2	2,975.8	3,512.6	3,384.1	4,795.5	17,551	10,277.8									
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0									

事務事業名	No.	173	老人憩いの家運営管理事業
-------	-----	-----	--------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	高齢者の憩いの場として必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者人口の増加に伴い必要となる高齢者の憩いの場を提供するためにも、老人憩いの家の利用対象者を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者人口の増加に伴い必要となる高齢者の憩いの場を提供するためにも、老人憩いの家の設置目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	憩いの家の利用者が増加傾向にあることから事業の成果は上がっている。	
	目的達成状況	内容	概ね達成できている。 令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により利用人数が減少した。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 いぎいきクラブ	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	他の事業と統合することにより成果を向上させることができない	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	施設の老朽化に伴い修繕が増える可能性があり、事業費削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	高齢者のための施設であるため、60歳以下が利用する場合に使用料を徴収することは適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	建築後、40年を経過する施設が多く、計画的な修繕が必要	対応策	施設の長寿命化計画を検討する。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	老人憩いの家（12館）の運営管理を、指定管理者である地区いきいきクラブが行った。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 高齢者の集いの場として、より一層利用しやすい環境づくりに努める。 耐震性を担保し、バリアフリー改修工事完了後は、地区施設として地元行政区へ払下げしていく構想がある。 個別施設計画に沿って施設の改修・保全を実施予定である。 指定管理期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間		
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	184	年金相談事業					
	この事務事業 の位置		政策		健康で生き生きと暮らせるまち					
			施策		豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう					
			基本事業		高齢者福祉					
	主管課名		保険年金課		課長名	石田耕一				
	この事務事業の開始時期		昭和56年度から		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		国民年金法							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	①国民年金の被保険者に関する資格取得、喪失等の届出事務や免除申請の受付事務を行い、受付したのものについては年金事務所へ進達する。 ②市民に身近な市役所内で年金相談を開設している ◆平成14年度から国民年金事務が機関委任事務から法定受託事務となり、第1号被保険者の届出等の受け付けが市町村事務となった  「SDGsの取り組み：3」				第1号被保険者の資格異動・一般免除申請・学生納付特例等の受付をし、内容確認後に年金事務所及び名古屋広域事務センターへ進達をしている。					
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①国民年金1号に関する資格取得、喪失など申請受付をした ②納付免除や学生納付特例など申請受付をした ③年金事務所等へ受け付けた申請書類等を進達 ④社会保険労務士による年金相談（月1回：第2水曜日）の開設							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	令和3年度から社会保険労務士による年金相談の廃止			名称		単位				
				① 資格異動届出件数		件				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
国民年金1号加入者				名称		単位				
				① 国民年金1号被保険者数		人				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
年金の請求手続き等の利便性の向上、円滑化を図る				名称		単位				
				① 国民年金1号資格取得喪失など申請件数		件				
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
国民年金に限らず広く年金一般に関する相談等を受け付けることにより、年金制度の安定化に資する。				名称		単位				
				① 年金相談件数		件				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 件	1,344	1,400	1,091	1,400	1,400	1,400	1,400		
	②									
(2)の 対象指標	① 人	5,815	6,000	5,942	6,000	6,000	6,000	6,000		
	②									
(3)の 成果指標	① 件	1,472	1,246	1,091	1,246	1,246	1,246	1,246		
	②									
(4)の結果の 成果指標	① 件	114	10	11						
	②									
予算費目	会計	01 一般会計			款	03	項	04	目	01
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	96	414	377	110	110	110	110		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	96	414	114	109	110	110		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	263	1	0	0		
人件費B	千円	9,015.7	9,015.7	8,884.7	8,899.7	8,899.7	8,899.7	8,899.7		
正職員従事時間×人数	時間×人	581×4	581×4	581×4	581×4	581×4	581×4	581×4		
正職員以外の人件費	千円	1,300	1,300	1,169	1,184	1,184	1,184	1,184		
その他の費用C	千円	319	319	202	202	202	202	202		
トータルコストA+B+C	千円	9,430.7	9,748.7	9,463.7	9,211.7	9,211.7	9,211.7	9,211.7		
単位あたりコスト	① 千円/人	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5		
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	No.	184	年金相談事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない	理由	①法定受託事務のため、変更できない。②年金事務所からの職員派遣中止により、未支給年金、遺族年金の受付ができなくなった
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	法定受託事務のため、変更できない
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	法定受託事務のため、変更できない
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	法定受託事務のため、事務内容が定まられており変更はできないが、窓口対応の中で各手続きや相談業務は行っているため、より良い行政サービスに努める。	
	目的達成状況	内容	年金事務所からの職員派遣中止のため、利便性は低下した。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 法定受託事務のため、変更できない	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	法定受託事務のため、統廃合は困難である。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	市独自で行っている相談業務については、実施方法等について見直しを行っていきたい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	受益者の負担はない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	年金事務所からの派遣職員による年金相談事業が中止となり、市独自で社会保険労務士による相談事業を行ったが、相談内容が限られた。	対応策	年金についての詳細について、情報がなく説明できないので、年金事務所を紹介し、詳細な相談に対応できるようにした。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	国民年金に限らず広く年金一般に関する相談等を受け付けるため、月1回社会保険労務士による年金相談を開催した。	変更追加	社会保険労務士による年金相談を中止した。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 年金相談、手続き等年金事務所ではできない事務については年金事務所の紹介で対応する。	
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	550	高齢者配食サービス事業							
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう								
			基本事業	高齢者福祉								
	主管課名		長寿介護課		課長名	浅井謙一						
	この事務事業の開始時期		平成13年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		介護保険法第115条44第2項第2号									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	調理が困難な高齢者に対して、定期的に居宅に訪問して栄養バランスのとれた食事の提供及び安否の確認を行うため、配食サービスを実施して、永年住み慣れた地域で安心して生活を営むことができるよう支援することにより、福祉の増進に資することを目的とする。 【SDGsの取組：3】				配食にあたって、食のアセスメント（評価）を実施。食の自立の観点から、本人の希望とアセスメント内容を検討し、必要な配食数（週1～7日）を決定している。							
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			申請に基づき、調理が困難な高齢者に指定された曜日の昼食または夕食のお弁当を届け、同時に安否の確認を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	ひとり暮らし高齢者や、高齢者世帯が増加した				名称		単位					
					① 配食した食数		食					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
食のアセスメントで認められた65歳以上のひとり暮らし又は65歳以上のみの世帯（実態把握した独居又は高齢者世帯）					名称		単位					
					① サービス対象となる人数		人					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
配食サービスを申請する（利用する）					名称		単位					
					① サービス利用を申請人数		人					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
安心して住み慣れた地域で生活してもらう					名称		単位					
					① サービスを利用した人数		人					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
(1)の活動指標		① 食	41,341	42,000	48,445	54,870	63,100	72,566	83,450			
		②										
(2)の対象指標		① 人	2,901	3,200	2,652	2,700	2,800	2,900	2,900			
		②										
(3)の成果指標		① 人	279	280	297	290	300	310	310			
		②										
(4)の結果の成果指標		① 人	2,462	2,500	2,841	2,600	2,700	2,800	2,800			
		②										
予算費目		会計	06 介護保険特別会計（保険事業勘定）				款	04	項	03	目	02
コスト		年度	H31年度実績値	R2年度計画値	R2年度実績値	R3年度計画値	R4年度目標値	R5年度目標値	R6年度目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	14,055	16,700	16,956	19,205	22,610	25,165	29,610			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	4,216	6,429	3,907	7,393	8,704	9,688	11,399			
	県支出金	千円	2,108	3,214	1,953	3,696	4,352	4,844	5,699			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	7,731	7,057	11,096	8,116	9,554	10,633	12,512			
人件費B		千円	1,633.4	2,177.9	2,403.7	2,403.7	2,403.7	2,403.7	2,403.7			
正職員従事時間×人数		時間×人	164×3	164×4	181×4	181×4	181×4	181×4	181×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	122	146	61	61	61	61	61			
トータルコストA+B+C		千円	15,810.4	19,023.9	19,420.7	21,669.7	25,074.7	27,629.7	32,074.7			
単位あたりコスト		① 千円/人	5.4	5.9	7.3	8	9	9.5	11.1			
(トータルコスト/②)の対象指標		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名	No.	550	高齢者配食サービス事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	利用者は増加している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	ひとり暮らしと高齢者世帯の他に、日中独居になる場合など柔軟に対応しているため見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	食事の提供に加え高齢者を見守るというに重きを置いているため、見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	配食を委託する業者を増やす。	
	目的達成状況	内容	達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 配食委託	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	統廃合することはできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	利用者は増加しているので事業費の削減はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	今後、高齢者世帯や一人暮らし高齢者の増加が見込まれることから、配食サービスの需要は増えることが予想される。	対応策	今後も利用者の声を聞きながら、事業を継続実施し、必要に応じて事業費の拡大を図る必要がある。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	申請に基づき、調理が困難な高齢者に指定された曜日の昼食または夕食のお弁当を届け、同時に安否の確認を行った。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後、子ども世代と同居せず高齢者のみの世帯やひとり暮らし高齢者の増加が見込まれる。利用者の声や健康状態を把握しながら継続していく。		
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			